高山祭

飛騨高山

屋台行事は ユネスコ 無形文化遺産に 登録。

日本遺産

高山祭は
4月14、15日
日枝神社「山王祭」
10月9、10日
櫻山八幡宮「八幡祭」
の総称。

旧高山城下町を南北に二分して春秋に行なわれる
華麗な屋台行事は、わが国有数の山車祭として知られています。

山王祭の屋台12台と八幡祭の屋台11台は、江戸時代後期に発達した祭屋台の典型として、国の重要有形民俗文化財に指定されています。宮本、年行司と呼ばれる役の指揮による華やかな屋台の曳行と、屋台で上演されるからくり奉納や囃子などの諸行事は、屋台行事の代表的なものです。

山王祭（さんのうまつり）は、試楽祭と本楽祭とからなり、全屋台が曳き揃えられます。御巡幸（ごじゅんこう）は、闘鶏楽や獅子舞などを伴って行われます。夜祭（よまつり）りでは、祭区域内を巡った後、各屋台蔵への曳き別れを行います。15日の本楽祭では、再び屋台が曳き揃えられ、神輿還御（みこしかんぎょ）とともに屋台の曳き別れとなります。

八幡祭（はちまんまつり）は、9日の本祭では祭行列の御神幸（ごしんこう）、一部の屋台による曳き廻しがあり、夜には11台の屋台による宵祭（よいまつり）が行われます。10日には御神幸と屋台の曳き揃えなどが行なわれ、夕刻曳き別れとなります。

春 山王祭

4月14日・15日

春の高山祭

からくり奉納（からくりほうのう）

三番叟・石橋台・龍神台の3台による「からくり奉納」が披露されます。何十本もの人形の綱を操る綱方たちの手によって命が吹き込まれるからくり人形達の見事な演舞で、観客を魅了します。

屋台曳き揃え（やたいひきそろえ）

屋台を間近で鑑賞できるのは、年にこの2日間だけ。神楽台・三番叟・石橋台・龍神台の4台は、両日とも中橋の御旅所前の広場で披露。他の８台は神明町～上町周辺に曳き揃えられます。

夜祭り（よまつり）

14日の日没後、それぞれの屋台は約百個もの提灯を灯し祭区域内を巡ります。順道場を過ぎると、曳き別れ歌「高い山」の調べとともに各屋台蔵へ帰ります。

三百年続く行事で、神輿を中心に獅子舞、闘鶏楽、裃姿（かみしもすがた）の警固など伝統の装束をまとった数百名が、祭区域内を練り歩きます。

御巡幸（ごじゅんこう）（祭行列）

秋 八幡祭

10月9日・10日

秋の高山祭

からくり奉納（からくりほうのう）

八幡祭唯一の「からくり奉納」は布袋台によって、櫻山八幡宮の境内で行われます。２体の唐子が布袋様の肩に飛び移る離れ業と布袋様の軍配からのぼり旗が現れる演出は必見です。外からは見えない綱方達の熟練された綱捌きをご堪能いただけます。

宵祭（よいまつり）

9日の夕方の宵祭では、昼と異なる屋台の魅力に出会えます。日が落ちると各屋台に約百個もの提灯が灯され、祭区域内をゆっくり巡り、そして曳き別れ歌「高い山」を歌いながら各屋台蔵へ戻ります。

屋台曳き揃え（やたいひきそろえ）

9日・10日とも布袋台は櫻山八幡宮境内に、他の10台の屋台は表参道に曳き揃えられます。国の重要有形民俗文化財である屋台を、目の前でじっくり鑑賞できます。

御神幸（ごしんこう）（祭行列）

お囃子（はやし）や獅子舞に先導され、闘鶏楽や裃姿の警固など、伝統の装束をまとった総勢数百名の大行列が、歴史絵巻さながらに現代によみがえります。

屋台曳き廻し（やたいひきまわし）

秋の高山祭の特別な行事である「屋台曳き廻し」は、櫻山八幡宮の表参道を出発し、祭区域内を巡ります。貴重な屋台を実際に動かすことで、その構造の緻密さや、計算された動きの美しさを堪能できます。

注意事項

- 天候により祭行事が変更・中止になることがございます。その場合、日程の順延はありません。
- 屋台は貴重な文化財です。絶対に手を触れないようにしましょう。
- 祭行列中は道路を横切らないようにしましょう。
- 場所により側溝の蓋が無い個所や段差がありますので、落ちないようご注意ください。
- 祭行事催行中は、付近において通行禁止などの通行規制を行う場合がございます。
- 混雑の状況により、祭行事催行時及びその前後に周辺への進入を一部制限する場合がございます。
- ドローンでの撮影は禁止されています。
- 場所取りはご遠慮ください。
- ゴミは各自で持ち帰りましょう。
- タバコは指定された場所でお願いします。

お問い合せ先

飛騨高山観光案内所　0577-32-5328

（一社）飛騨・高山観光コンベンション協会　0577-36-1011

高山市役所観光課　0577-32-3333

祭当日は専用回線が開設されますので、そちらにお問い合わせください。

※専用回線の番号は観光サイト「飛騨高山旅ガイド」又は、祭当日に配布するチラシに記載予定です。
※専用回線は毎年変更されますのでご注意ください。
※祭当日の情報は飛騨高山観光公式サイト「飛騨高山旅ガイド」をご覧ください。

春の高山祭　秋の高山祭

※内容が決まり次第、順次、公開・更新されます。

2025 年 4 月制作

春の高山祭「山王祭」

① 神楽台 かぐらたい

楽人たちが屋台囃子を奏でながら屋台行列を先導します。

② 三番叟 さんばそう

童子が一瞬で翁に早変わりするからくりが有名な屋台です。

③ 麒麟台 きりんたい

飛騨の名工・谷口与鹿の傑作彫刻が自慢の屋台です。

④ 石橋台 しゃっきょうたい

踊っていた美女が獅子に早変わりするからくり屋台です。

⑤ 五台山 ごたいさん

円山応挙の下絵とされる獅子牡丹の刺繍幕が見事です。

⑥ 鳳凰台 ほうおうたい

オランダ古渡りの赤・黄・黒の三色竪幕が目印です。

⑦ 恵比須台 えびすたい

名工・谷口与鹿の親子龍、手長・足長像が特徴の屋台です。

⑧ 龍神台 りゅうじんたい

唐子と激しい踊りの龍神のからくりが有名な屋台です。

⑨ 崑崗台 こんこうたい

唐草や雷紋などの中国風の意匠が魅力の屋台です。

⑩ 琴高台 きんこうたい

金糸波浪、色糸鯉魚の刺繍をはじめ鯉ずくしの屋台です。

⑪ 大國台 だいこくたい

祭神に大黒天を祀り、曳行の際、屋根が揺れる構造です。

⑫ 青龍台 せいりゅうたい

全屋台中唯一の入母屋造りで、三層構造の最大級の屋台です。

秋の高山祭屋台

① 神楽台
② 布袋台
③ 金鳳台
④ 大八台
⑤ 鳩峯車
⑥ 神馬台
⑦ 仙人台
⑧ 行神台
⑨ 宝珠台
⑩ 豊明台
⑪ 鳳凰台

春の高山祭屋台

① 神楽台
② 三番叟
③ 麒麟台
④ 石橋台
⑤ 五台山
⑥ 鳳凰台
⑦ 恵比須台
⑧ 龍神台
⑨ 崑崗台
⑩ 琴高台
⑪ 大國台
⑫ 青龍台

秋の高山祭「八幡祭」

① 神楽台 かぐらたい

大太鼓、金の鳳凰などがひときわ目を引く屋台です。

② 布袋台 ほていたい

八幡祭でからくり奉納を披露する屋台です。

③ 金鳳台 きんぽうたい

上段の飾り人形が目印の屋台です。

④ 大八台 だいはちたい

この屋台の目印は黒塗り金具付きの御所車です。

⑤ 鳩峯車 きゅうほうしゃ

屋台の中でも異彩を放つ四方の豪華な綴錦が自慢です。

⑥ 神馬台 じんまたい

上段を飾る白馬と烏帽子姿の白丁人形が目を引きます。

⑦ 仙人台 せんにんたい

棟の両端に載る極彩色の剣巻竜は存在感があります。

⑧ 行神台 ぎょうじんたい

上段の赤い幕や白い房などコントラストが美しい屋台です。

⑨ 宝珠台 ほうじゅたい

棟飾りには、雌雄の大亀を載せています。

⑩ 豊明台 ほうめいたい

切妻破風の屋根に大鳳凰、躍動感溢れる獅子と牡丹の彫刻が見所です。

⑪ 鳳凰台 ほうおうたい

名工谷口与鹿と弟子・浅井一之の作で、谷越獅子と呼ばれる彫刻が見所です。

２次元コードをスマホで読み込むと、各々の屋台曳行等の動画が流れます。